

太田市長を表敬訪問した鎌田投手(左)



「一日でも早く1軍で」 千葉ロッテ・鎌田投手、表敬訪問

プロ野球・千葉ロッテマリーンズへの入団が決まった鎌田光津希投手が12月26日、太田市長を表敬訪問しました。
今泉出身の鎌田投手は野栄中学校を卒業後、横芝敬愛高校から敬愛大学へ進学し、平成30年4月に四国アイランドリーグplus・徳島インディゴソックスに入団。最速155kmのストレートやカットボールなどを武器に活躍し、10月のドラフト会議で千葉ロッテから育成1位で指名を受けました。
鎌田投手は、「まずは支配下登録を目指したい。一日でも早く1軍のマウンドで投げられるよう頑張りたいです」と抱負を述べました。

地域課題の解決に向け 支え合い・助け合い市民フォーラム

地域での支え合い活動による高齢者の支援体制を構築することを目的として、市民ふれあいセンターで1月14日、支え合い・助け合い市民フォーラムが行われました。
2部構成で進行され、第1部では公益財団法人さわやか福祉財団の戦略アドバイザー、土屋幸己さんによる基調講演を実施。土屋さんは、元気な高齢者自身も担い手として参加する、地域におけるネットワークづくりの必要性を訴えました。
また、第2部ではパネルディスカッションを行い、市内で活動する団体代表として、共興、豊和、野栄の各地区社会福祉協議会から、共興地区の伊藤清会長と佐藤真由美理事、豊和地区の林哲郎会長、野栄地区の及川大樹社会福祉推進委員が登壇。各地区での取り組み状況や課題、今後の展望などの意見が交わされました。



日ごろの取り組みなどを発表した
パネルディスカッションの登壇者

県産米のおいしさ競う 千葉米食味コンクール 金杉さんが優良賞受賞

優良賞を受賞した金杉さん(右)と、JAちばみどり間瀬誠一代表理事(写真同組合提供)



県内で作られたお米のおいしさを競う、平成30年産千葉米食味コンクールが12月11日に千葉市で行われ、金杉勝城さん(東谷)のコシヒカリが優良賞に輝きました。
これは、県産米の品質向上や生産者の意欲向上を目的に、JA全農ちばが主催したものです。この日は97点の応募作品の中から1次・2次審査を通過した上位7点の最終審査が行われ、タレントや米・食味鑑定士ら10人が「外観」「味」「香り」について評価し、総合得点で順位を決定しました。
優良賞を受賞した金杉さんは『『できる限りおいしいお米を』と取り組んでいます。結果に満足せずにてっぺん目指して頑張りたいです』と話していました。

飯高檀林跡の環境保全を目的として、境内周辺に繁茂する竹などを伐採し、ヤマザクラやクヌギなどを植栽するためのボランティア作業が1月12日に行われました。
この日は、檀林の保全活動に取り組む「史跡飯高檀林跡を守る会」が中心となって、高校生や市外からの大学生など計38人が参加。参加者は、額に汗を浮かべながら、講堂西側の山林斜面で伐採した孟宗竹などの除去作業に取り組んでいました。

力を合わせてきれいな檀林を
ボランティアで環境保全



除去作業を行う参加者

地域の伝統行事

正月を迎え、各地で行われた新年行事を紹介します。



稲荷神社の綱かけ神事

山桑の稲荷神社で1月6日、昨年に収穫された稲わらを使って8mに達する大注連縄を結び上げる「綱かけ神事」が行われました。完成した注連縄は神社正面の鳥居につるされ、家内安全や無病息災を祈願しました(=写真)。

六社大神の御奉射

野手の六社大神で1月6日、春季例大祭の御奉射が行われました。祭礼内の御的式では、境内に設けられた的に向けて神官と祭礼年番区の祭典委員長が交互に矢を射り、一年の吉凶を占いました(=写真)。



仁組獅子舞

獅子が集落内を回り、悪魔払いをして無病息災と五穀豊穡を祈る「仁組獅子舞」が1月13日、栢田の仁組地域で行われました。獅子は各家庭で華麗な舞を披露し、一年の健康を祈りました(=写真)。

小高の裸参り

下帯姿の男衆が、頭から冷水をかぶる真冬の水ごり行事「裸参り」が1月13日、小高で行われました。妙長寺門前に集まった参加者は、「エイサ、オイサ」という掛け声で氣勢を上げ、冷水を頭から何度も豪快にかぶりました(=写真)。



松山神社の筒粥神事

青竹に入った粥と小豆の分量で、一年の吉凶を占う松山神社の「筒粥神事」が1月15日に行われました。天候や作物などが書かれ分けられた青竹42本が、地区の住民によって確認され、今年の縁起を占いました(=写真)。

大空にたこが舞う

発明クラブ新春イベント

八匠少年少女発明クラブの新春イベント、たこ揚げ大会が1月5日、のさかふれあい公園で行われました。

冬休み明けを前に体を動かしてもらおうと、同クラブが約20年前から毎年開催している恒例企画。クラブの子どもたちは、好きなキャラクターや亥年にちなんだものなど、思い思いのデザインを施した手作りたこを、保護者と一緒に夢中になって揚げていました。



「たこ揚げがれ」と全力疾走する子ども

安心、安全な施設の完成を 広域ごみ処理施設建設工事起工式

匠瑳、旭、銚子の3市で構成される東総地区広域市町村圏事務組合が計画する、広域ごみ処理施設の建設工事起工式が12月25日、銚子市野尻町で行われました。

式には各市の市長や関係者らが出席。同組合管理者の明智忠直旭市長が「環境に優しく、安心・安全な施設の完成を願います」とあいさつし、2年後の竣工を目指して、工事期間中の無事故を願いました。

同組合によると、施設は建設費約200億円、敷地面積は約4万8000㎡。1日当たり198tのごみ処理能力を有します。



起工式でくわ入れを行う、3市の市長(中央が太田市長)